

## 下半期は各地域が抱える課題の解決に向けて動き出します！！

建設発生土の発生土量や有効利用率は、施工中の工事内容や件数、建設発生土処理施設の受入可能量等、様々な要因によります。そのため、各地域の数値にはばらつきがあり、異なる課題を抱えていることが、これまでのみらいの県土研究会でわかりました。下半期は、各地域の課題解決に向けて、建設発生土の最適な処理方法を検討していきます。

	下田	熱海	沼津	富士	静岡	島田	袋井	浜松
発生土量 (m <sup>3</sup> )	69,800	10,300	519,900	134,900	251,800	324,300	553,200	237,600
有効利用率	51%	65%	82%	76%	78%	58%	69%	81%

※COBRIS集計結果 R1~R4平均値

## 現在の建設発生土処理施設の分布は、このようになっています

- リサイクル施設（土質改良プラント、ストックヤード）が多く存在する
- 処分場は3箇所のみ、清水区には処分場がない

- 大規模な処分場があり、受入可能量に余裕がある
- 富士宮市北部には処分場がない

### 静岡

- 牧之原市、島田市に大規模な処分場がある
- 土質改良プラントのある焼津市、牧之原市では有効利用率が高い
- 最終処分量の約半数は浚渫土となっている

### 島田

- 地域内に処理施設が少ない
- 天竜区、浜名区には処理施設がない

### 浜松

- 菊川市、御前崎市には処理施設がない
- リサイクル施設（ストックヤード兼土質改良プラント）は管内に1箇所のみ

### 袋井

### 下田

## みらいの県土研究会地域部会は12月に開催を予定しています

出席者は、県（土木事務所、農林事務所）、市町に加え、県建設業協会、県砕石業協同組合、静岡市建設発生土処理事業者協議会、建設業者及び建設発生土リサイクル業者、建設発生土最終処分場事業者の方々を予定しています。地域部会では、近隣市町の状況も鑑みた検討を進めていきます。

- ◆手軽に登録・情報検索
  - ◆無料で使用可能!!
- <https://ssm-system.jp/>

**SSM**

静岡県建設発生土マッチングシステム  
Shizuoka Surplus Soil Matching System

